

No.13

2015年(平成27年)/8月発行

HP●http://www.gakuryou.com/

# 東京鰐陵

## Tokyo Gakuryo

発行●東京鰐陵会(石巻高等学校同窓会東京支部)  
会長 木村貴則  
発行所●東京都荒川区町屋 7-19-5-312  
早川誠方 東京鰐陵会事務所  
TEL & FAX (03) 3809-0848  
編集●東京鰐陵編集委員会

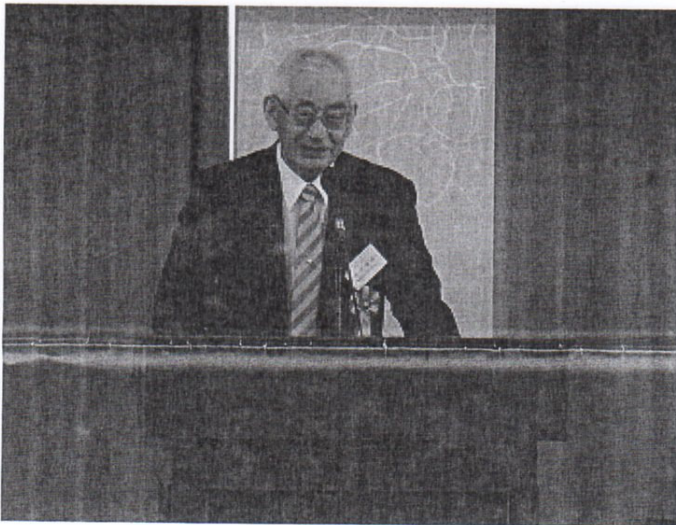
振込み口座●郵便振替口座番号 00180-4-350194  
加入者名 東京鰐陵会  
●銀行口座 三井住友銀行 町屋支店  
普通 6950841東京鰐陵会会計早川誠



堀内副会長(33回生)の開会の辞



100名を超える参加者で毎年開催のスタート



第1部総会 木村貴則会長(33回生)の挨拶

第1部は、前回総会以降の物故者に対する黙祷で始まり、木村貴則会長の挨拶の後、行事・会務報告、会計報告、監査報告が配布資料に基づき行われ、全て原案通りに承認された。

第2部の演奏会では、伊勢秀一郎氏(46回生)のトランペット、亀山賢一氏(41回生)のドラム、仙台出身の佐々木梯二氏のベースの競演が行われた。馴染みの曲を、4曲演奏され静かに鑑賞して貰い、万雷の拍手を浴びた。

第3部懇親会は、来賓の佐藤佑鰐陵同窓会長と小玉卓夫校長先生にご挨拶をいただいた。乾杯の発声は、19回生の菅原深さん(86歳)が務め、声高らかに乾杯して歓談タイムに移った。今回からの新企画で「米寿、喜寿を迎えられた会員で元気に参加された方を紹介し、健康を祝して記念品を差し上げる」ことを行い、会長から記念品が手渡しされた。「先輩お久し振り」コーナーでは、水泳部1名と軟式テニス部8名の先輩・後輩が、順番に当時の部活動の様子と自慢話を披露し、記念撮影をした。当番幹事の37回生の挨拶に続き応援歌・鰐陵歌を全員で斉唱し、次回当番幹事38回生に法被を引き継ぎ、大いに盛り上がった。最後に監事の木村莞爾さん(29回生)の中締めで予定通りの3時間の第23回総会を閉じた。

今回は、今年11月8日(11月の第2日曜日)に、同じ場所・時刻での開催。同期生を誘って多数の方が参加してくれることを期待しております。



第2部「伊勢スペシャルトリオ」の演奏



第3部 懇親会は乾杯でスタート

### 毎年開催のスタート! 第23回東京鰐陵会総会は 盛会の中、無事終了。

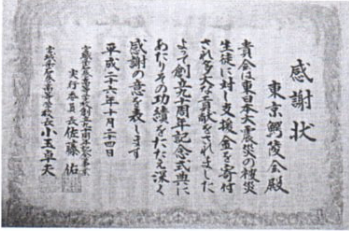
去年11月9日(日)、東京鰐陵会の第23回総会が東海大学校友会館「望星の間」(霞ヶ関ビル35階)で盛大に開催された。隔年から毎年開催になって初めての総会で参加者数が心配されたが、100名を超える会員が集まった。その中で新たな顔触れが3分の1程度となり新しい時代の同窓会づくりへの好スタートを切った。



受付風景



石巻創立90周年記念式典で感謝状を授与される



### 第23回総会会長挨拶

東京鰹陵委員会 木村貴則(33回生)

皆さん、こんにちは。私は昨年の総会で会長に選任されました33回生の木村貴則(よしのり)です。

日頃は会の運営にご支援ご指導を賜りまして有り難うございます。

今日の総会には、石巻同窓会本部から佐藤 佑会長、須田事務局長、小玉校長先生にお出で頂きました。朝早くからの移動で大変だったと思います。有り難うございました。後ほど懇親会の時に改めてご紹介とご挨拶をいただきます。

式には鰹陵同窓会東京支部ですが、感謝状を頂戴しました。理由は東日本大震災の時に、多額の義援金を集め生徒を支援してくれたということですので、ここに持って参りましたのでご確認下さい。義援金の募金活動は、震災後直ぐに皆さんに働き掛けまして、全部で438名の方から寄付が寄せられまして5月13日に5百万円、6月末に70万円をお届けしました。被害の大きい生徒の家庭を支援する目的で被害程度に応じて5万円、1万円の現金を配って頂きました。総会に出席される会員は100名程度ですが、この時は普段見向きもしない会員

からも義援金を頂きました。母校愛と郷土愛に触れまして、我々も感激したことを覚えております。昭和33年に母校が火災で焼失するという災難に遭遇し、その時に母校の支援を目的に結成された東京鰹陵会の精神は今も続いていると感じたものです。

さて、昨年の総会で、2年毎に開催していた総会を毎年開催すると決まりました。参加者がどうなるものかと不安でしたが、結果としては100名を超える参加を頂きました。その中で新たな顔触れが1/3程度という結果になりました。役員一同安心したところで、案内状に同封して、昨年の総会の様子を伝える広報紙「東京鰹陵」をお送りしましたが、これを見て同期の方々の参加を知り、それでは俺もという方が多かったです。ではないかと「作戦成功」を喜んでおります。今年の総会の様子も、出来るだけ多くの方の顔写真を入れて作りたいたいと思います。後でテール毎に参加者の写真を写しますのご協力下さい。

東京鰹陵会の目的は会員相互の親睦ですが、細かなルールは決めていませんが、暗黙の了解事項は、「政治、宗教に関することは抜きにする、会の名前の営利活動は支援しない、文化活動や社会貢献活動などは会のHPに取上げて紹介する」、と言うものです。その主旨に沿ってHPを構成していますので、ご覧になれる環境の方はご確認ください。

さい。義援金募金の報告も詳細が載っています。

問題が提起された時は、16名の運営委員会で相談して決めております。

その一つに、今年からは、他校の同窓会幹部の相互招待を取り止めることにしました。従って、この会場に居る方は全て鰹陵生かその関係者

だけです。同期生の集まりを中心にして、出身中学校の先輩後輩の久しぶりの交歓やクラブの先輩後輩の思い出話に耽って貰いたいと存じます。

同窓会は若い人が加わらないと尻すぼみになるのを目に見えてしまうので、若い人の参加しやすい優遇策を設けて居るのですが、なかなか参加してくれません。昨年に続いて今年も学生会員の参加はゼロです。堅苦しい集まりの場と思われて居るのかも知れませんが、それならばと聞き直った訳では無いのですが、今年からの新たな企画として「喜寿、米寿を迎えられた会員で元気に参加された方を紹介し、健康を祝して記念品を差し上げよう」ということを懇親会の中で行います。

米寿(88歳)を迎えられる方は17回生ですが、残念ながら参加者が居られません。そこで近い回生としてご参加の19回生をお祝いすることにします。19回生は2名居られたのですが、5日の日に1名の方が義弟の葬儀の日に重なったので出られない、と言う連絡を貰いましたので1名、菅原 潔さんだけになりました。

喜寿(77歳)は28回生が相当します。ご出席の3名の方と、早生まれの方も居るよという声も有りますので、27回生の6名の方を併せてお祝

いたしたいと思います。第一部総会の議決は速やかに行いまして、第二部の演奏会と第三部懇親会を楽しみたいと思います。

### 「ふるさと納税」と「会費納入」でのご支援を



鰹陵同窓会会長 佐藤 佑 26回生

皆様こんにちは。只今は素晴らしい演奏を聞かせて貰いまして、このまま乾杯の仕切りに入つた方が良いでしょうと思ひますが、ちよつと腰を折るかもしれないが、私共から御礼とお願ひをさせていただきます。私は26回生の佐藤でございます。

御礼は、石高90周年の記念式典に際しまして、木村会長始めかなりの方に参列頂きまして、盛大に 행사させて貰いました。これは昨年申し上げたが、本来ならば昨年が90周年だったので、東日本大震災の関係で準備不足ということで、1年先送りして今年10月24日に開催させて頂きました。実施報告内容に關しては、お手許の学校からの報告資料に出しておりますけれども、その様な形で事業を進めて参りました。学校関係につきましては、校長先生からもお話があると思ひますけれども、この事業の中で皆様もご記憶に有ると思はれることに触れさせていただきます。以前の学校の通用門のそばに

いたしたいと思います。第一部総会の議決は速やかに行いまして、第二部の演奏会と第三部懇親会を楽しみたいと思います。

最後まで、楽しく過ごしたいと思ひます。本日はご出席有り難うございました。

来年3月頃には電車が石巻まで開通する見込みです。それからお手許に「ふるさと納税」のパフレットが有ると思いますが、先頃石高出身の石巻市役所の副課長が参りまして、90周年事業の中で紹介して欲しいと言われたのですが、既に事業内容が固まっておりますのでお断りしまして、東京鰹陵会の総会に出席するのでそこで紹介することです。そこで紹介することで了解を貰いましたので、このパフレットを入れています。平成26年度は既に4500万円の納税が有るそうで、1万円の納税に5千円相当の景品が付くそうですから宜しくご支援をお願いします。

毎回申し上げておりますが、鰹陵の卒業生は21000名位居ります。その中で会費納入者は約1割で、事務局は大変苦勞をしております。皆様にも会員として会費納入でのご支援を賜ればとお願い致します。御礼とお願ひを申し上げます。今日、代えさせて貰います。今日は、東京鰹陵会の総会にお招きいただきまして有り難うございました。

いたしたいと思います。

最後まで、楽しく過ごしたいと思ひます。

本日はご出席有り難うございました。

来年3月頃には電車が石巻まで開通する見込みです。

それからお手許に「ふるさと納税」のパフレットが有ると思いますが、先頃石高出身の石巻市役所の副課長が参りまして、90周年事業の中で紹介して欲しいと言われたのですが、既に事業内容が固まっておりますのでお断りしまして、東京鰹陵会の総会に出席するのでそこで紹介することです。そこで紹介することで了解を貰いましたので、このパフレットを入れています。平成26年度は既に4500万円の納税が有るそうで、1万円の納税に5千円相当の景品が付くそうですから宜しくご支援をお願いします。

毎回申し上げておりますが、鰹陵の卒業生は21000名位居ります。その中で会費納入者は約1割で、事務局は大変苦勞をしております。皆様にも会員として会費納入でのご支援を賜ればとお願い致します。御礼とお願ひを申し上げます。今日、代えさせて貰います。今日は、東京鰹陵会の総会にお招きいただきまして有り難うございました。

いたしたいと思います。

最後まで、楽しく過ごしたいと思ひます。

本日はご出席有り難うございました。

来年3月頃には電車が石巻まで開通する見込みです。

それからお手許に「ふるさと納税」のパフレットが有ると思いますが、先頃石高出身の石巻市役所の副課長が参りまして、90周年事業の中で紹介して欲しいと言われたのですが、既に事業内容が固まっておりますのでお断りしまして、東京鰹陵会の総会に出席するのでそこで紹介することです。そこで紹介することで了解を貰いましたので、このパフレットを入れています。平成26年度は既に4500万円の納税が有るそうで、1万円の納税に5千円相当の景品が付くそうですから宜しくご支援をお願いします。

毎回申し上げておりますが、鰹陵の卒業生は21000名位居ります。その中で会費納入者は約1割で、事務局は大変苦勞をしております。皆様にも会員として会費納入でのご支援を賜ればとお願い致します。御礼とお願ひを申し上げます。今日、代えさせて貰います。今日は、東京鰹陵会の総会にお招きいただきまして有り難うございました。

いたしたいと思います。

最後まで、楽しく過ごしたいと思ひます。

本日はご出席有り難うございました。

いまの時代に生きる、初代野口校長の精神

宮城県石巻高等学校校長 小玉卓夫



皆様こんにちは。只今ご紹介にあずかりました校長の小玉でございます。今日は東京鰐陵会の総会にお招きをいただきまして有り難うございます。また、先程東京鰐陵会の会長さんからお話がありまし

皆様のお手許に資料を配らせていただきましたが、もう少し良い紙を使いたかったのですが、学校は節約しておりますので地元の製紙会社の紙で我慢して貰いますが、かいつまんで学校の様子をお知らせします。まず、石巻は進学校の位置付けに置かれておりますが、厳しい環境の下で生徒諸君は頑張っております。必ずしも国立公立大学への進学

者の数で評価する訳ではありませんが、一般的には進学の指標になっております。資料の一枚目の左下側に数字がありますが、ここ10年位は進学実績がかなり上がっております。仙台市内の幾つかの学校を除けば、古川と気仙沼と石巻の石巻が仙台勢に負けまいとして頑張っております。又、私立大学進学についても資料

に有ります様に頑張っております。石巻生は当然に文武両道でございませう。一枚目の裏をご覧いただきたいのですが、男子の約8割が運動部に所属しております。女子の場合は4割強です。今、部員数が多いのは、陸上部、ボート部の2つです。それから文化部・学芸部では、書道部が活発でございまして、映画にもなりま

した書道サークルが活躍しております。毎日書道展の宮城県大会では三連覇を成し遂げておりまして、全国大会にも出場しているところであります。それから生徒数の推移の表がありますが、今年をもって石巻は女子が10名多くなりました。男子323名対女子333名でして、男女共

学から9年目を迎えてこういう傾向になっております。部活動の主たるところを紹介すると、文武両道の武では、客観的に見て宮城県内の進学者とすると、高校の中では最も良い成績を上げていますと考えられます。公立高校が共学化したことにより、男女共に半分の位になる訳ですが、そういう中では今は私立高が圧倒的な強さを誇っております。そういう環境の中で、全国大会にこれだけの数の選手を出している高校は他に有りません。単に全国大会に行くだけでなく、良い成績を取って帰ってくるという状況です。これは、真に文武両道を標榜する今の石巻の力であると思っております。

インターハイは、ウエイトリフティングとボート、陸上が出場し、ウエイトリフティングとボートが上位入賞を果たしています。団体でもウエイトリフティングが第3位で、この生徒は来年大学で競

技生活を送ることが決まっています。今の1年生、2年生はどうかと言うと、水泳部、陸上部、ウエイトリフティング部、ボート部が春の全国選抜大会出場を決めています。

さて、創立90周年の記念式典については、先程佐藤会長からお話があった通りです。大変有り難うございまして、資料に記念事業の概略を紹介しましたのでご覧下さい。

その他の生徒の活躍については、新聞で報道されたものから主なものを紹介しておりますが、一つの例で大変面白いのは、「平成の常長」ということで、生徒が積極的に取

り組んで「平成の遣欧使節」に取り組んだことがありました。OEDがらみの事業で海外に出掛けたり、全国を股にかけての高校生が社会活動が行われている例があります。感心しました。

学校の中だけではない生徒の活動も認めてあげないといけないなど思っています。また石巻では今、英語の授業を英語だけで行う取り組みを行っています。これは文部科学省の認定の授業で3年目になります。先日文部科学省の方が見えられて授業参観をされて高く評価されました。それも授業だけでなく、文化祭の時には先生も巻き込んで、100数十名が参加す

るミュージカルの上演を行いました。大変素晴らしいものでした。動画で学校のHPに載せようと考えたのですが、著作権の問題が有って音は出せないということで止めになりました。こういう場で紹介したいものです。最後になりますが、90周年記念式典の時に、女子の生徒会長が、ちなみに応援団長も女子ですが、しかし、秋の選挙では生徒会長、応援団長共に男子が奪い返しましたが、この女子の生徒会長の挨拶で、「伝統の重さを引継いで行く」という決意を述べられました。これを聞いていた大先輩の前同窓会長の佐藤信夫さんが、ほろりと涙を落とさ

私達は今年4月に三國校長の後任として、岩出山高校から赴任致しました。私は、生まれ育った所は古川でございます。ただ、石巻高校とは縁がございまして、石巻高校には定時制課程がありました。が、定時制課程の最後の教頭として、9年前に赴任致しまして6年前に閉めたことになりましたが、今度は校長として赴任した訳です。

同窓会の各支部の集まりには出席しておりまして、今日で7か8回目になりますが、何処でも感じるのは皆様の母校と故郷に対する熱い思いでございます。関西の時もそうでしたが、石巻は各界に人材を輩出しているなどということ

割強です。今、部員数が多いのは、陸上部、ボート部の2つです。それから文化部・学芸部では、書道部が活発でございまして、映画にもなりま

り組んで「平成の遣欧使節」に取り組んだことがありました。OEDがらみの事業で海外に出掛けたり、全国を股にかけての高校生が社会活動が行われている例があります。感心しました。

学校の中だけではない生徒の活動も認めてあげないといけないなど思っています。また石巻では今、英語の授業を英語だけで行う取り組みを行っています。これは文部科学省の認定の授業で3年目になります。先日文部科学省の方が見えられて授業参観をされて高く評価されました。それも授業だけでなく、文化祭の時には先生も巻き込んで、100数十名が参加す

るミュージカルの上演を行いました。大変素晴らしいものでした。動画で学校のHPに載せようと考えたのですが、著作権の問題が有って音は出せないということで止めになりました。こういう場で紹介したいものです。最後になりますが、90周年記念式典の時に、女子の生徒会長が、ちなみに応援団長も女子ですが、しかし、秋の選挙では生徒会長、応援団長共に男子が奪い返しましたが、この女子の生徒会長の挨拶で、「伝統の重さを引継いで行く」という決意を述べられました。これを聞いていた大先輩の前同窓会長の佐藤信夫さんが、ほろりと涙を落とさ

新企画

米寿・喜寿を迎えた参加者に健康を祝福し、記念品を贈呈



今回から「米寿・喜寿を迎えられた会員で元気に参加された方を紹介し、健康を祝して記念品を差し上げる」ことを行い、米寿相当として繰り上げて19回生1名に、喜寿相当として28回生3名と27回生6名に会長から記念品が手渡された。この新しい企画は好評で今後も継続する予定。



米寿代表で挨拶する 菅原 潔氏(19回生)

19回生の菅原 潔です。米寿のお祝いを繰り上げて貰うことになりました恐縮です。健康の秘訣と言うことで、まず第1に、毎年健康診断を受けること、第2に、糖尿病にならないこと、第3に、骨を丈夫にすることです。皆さん、ここでこういうお祝い品を貰うためには、この3か条を守る必要があります。糖尿病にかからないためには、良く噛んで食べることで、植物食品を摂ること、りんご1個で医者いらすずから、りんごを食べる食事をするということです。骨を丈夫にするためには、運動すること、日光浴、ビタミンBとカルシウムを摂ること、その為に牛乳を飲むことです。終わり。

集まろう！肩の凝らない楽しい語らいの場へ  
繋げよう！ふるさとの想い 東京鰐陵会  
同期生が同じテーブルで大いに盛り上がる



右から伊勢(tp) 龜山(ds) 佐々木(b) の各氏



「伊勢スペシャルトリオ」の演奏



37 回生司会・阿部義夫氏  
村井善郎氏(右)



当番幹事回生、37 回生の皆さん

村井 善郎氏(37回生)  
うちのクラスはまとまりが良く、何度となくクラス会を開いて参りました。大震災の後、何かやることではないかということで相談したのですが、結果して支援活動をやるということになりました。定期的に集まることを話し合いました。その時に、東京鰐陵会の総会を毎年開催するということになりましたので、10名程度が集まって来ました。今後も東京鰐陵会総会に合わせて集まり、二次会として同期会を開くことを続けて参りたいと思っております。



境田氏(37回生) 旗振りによる校歌・応援歌合唱



先輩お久し振りコーナー



水泳部代表：菅原新也氏(41回生)

●水泳部  
41回生の菅原新也です。3年間頑張ってきました。当時は、平泳ぎとバタフライに早い選手が居て成績優秀で、県大会から東北大会、全国大会に出ていました。自由形はそこそこの成績で、私は



喜寿代表で挨拶する  
神山公男氏(28回生)

28回生の神山公男です。喜寿のお祝いの記念品を買った代表として一言感想を申し上げます。我々28回生は、昭和28年の丁度石高創立30周年記念の年に入学しました。30周年記念式典には、扇谷正造先生(3回生)と伊藤整さんが来られました。伊藤整さんの話の時、生徒の声がかやがやとうるさく話聞き取れなかったのですが、この時に扇谷先輩が話を引継いで、穏やかな話で生徒たちを沈黙させたことを覚えております。

あれから60年が過ぎました。どの様に鍛えられたかと言うと、石高の3年間の思い出は、大街道を全校マラソンで走ったことです。今はどうなっているのでしょうか。いい思い出でした。その後の会社生活の中で守ってきたことは、運動することです。毎日昼休みには走っていました。食事は加工品で無く、生を良く噛んで食べるということです。これからは健康に気を付けて、米寿を元気に迎えられるように頑張ります。本日は有り難うございました。

背泳をやっていた、それ程早くはなかったのですが、3年時に1年生で早いのが入って来まして、メドレーリレーで3位に入り東北大会に連れて行って貰いました。東北大会は山形市でありました。大会が終わって帰りに蔵王山に登って帰って来ましたが、その時に蔵王のお釜で泳ごうと言うことになり泳いだのですが、周りに居た観光客に咎められたという思い出があります。そんなところです。今回の総会での水泳部の出席者は私一人が寂しいのです

●軟式テニス部  
28回生の神山公男です。思い出に残るのは、当時テニス部は海門寺公園のテニスコートで練習しました。当時の石高はラグビーが盛んでしたが、テニス部は石女のテニス部と一緒に場所練習していたので、お前らちゃらちゃらしているのではないかと言われたことを覚えております。硬式は無く軟式だけです。そんなところです。

# 東京鰐陵

Tokyo Gakuryo



40～41 回生



31～33 回生



ご来賓および役員



42～46 回生



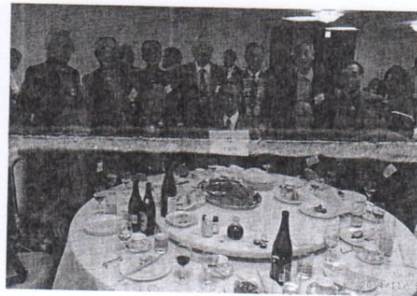
34～36 回生



19～26 回生



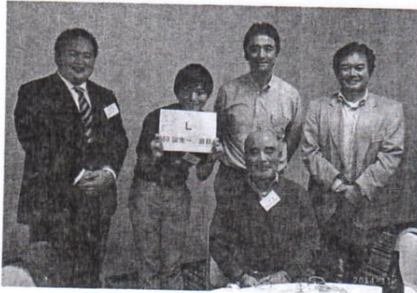
47～50 回生



37 回生



27～28 回生



58 回生～、当日出席者



37～38 回生



29～30 回生



中締め、木村莞爾氏



次回当番幹事 (38 回生) の面々  
法被の引き継ぎ (左)



鰐陵歌、応援歌唱和

37回生だより

総会と同期会を同時に楽しむもう!!

当番幹事 阿部義夫

「同窓会とは先輩は偉くて怖い人ばかりで先輩は知らない行きたくないなあ。これは50歳の頃の我々の考えでした。」

「同窓会に行っただけ同期生は自分一人だけで誰も来ていないんだよ。先輩も後輩もよく知らない人ばかりでおもしろくないなあ。」60歳頃に聞いた話です。

64歳の平成23年3・11大津波が来ました。「こんな時だ。同窓会に皆で行こう!!」ある集まりで丹野静也君の発声でした。

「総会では先輩は偉ぶらず優しく出身中学の先輩後輩はいるしクラブの先輩後輩はいるし、何と言っても同期生が10人出席しているので話題に事欠かなく時間がまるつきり足りませんでした。二次会には新橋です。皆の話が多すぎてまあうささい事、これがずーっと続き終りがありません。楽しさの続きは又と言う事で」

「総会とは先輩は偉くて怖い人ばかりで先輩は知らない行きたくないなあ。これは50歳の頃の我々の考えでした。」

「同窓会とは先輩は偉くて怖い人ばかりで先輩は知らない行きたくないなあ。これは50歳の頃の我々の考えでした。」

「同窓会とは先輩は偉くて怖い人ばかりで先輩は知らない行きたくないなあ。これは50歳の頃の我々の考えでした。」

3・11の1ヶ月後東京37回会を開き15名が集まり石巻地区支援の話合いをしました。全員が「何かしら支援しなければいけない」との当然の考えでした。その中から37回生が中心となって今でも活動している2団体の紹介を致します。

『女川に元気を送る会』(ホームページあり) 村井善郎君(女川一中)が会長で女川出身者をまとめ町に支援金を贈呈したり、女川には医師が不足しているので自分が月曜日から木曜日まで出張診療し金曜日は旧都立病院での診療と活躍している。

『石巻支援37会』(ホームページあり)代表佐藤悠君(住吉中)、幹事丹野静也君(門脇中)、伊藤孝道君(石巻中)、阿部義夫(湊中)らで毎月1回の会議と石巻地区への出張を行っています。石巻地区の各小中高の校長や教頭方に会い、出前授業として学校の授業時間にも組み入れてもらい、プロの歌手や演奏家、画家、大学の先生方に特別授業をしていただいたりして支援学校も同様、又仮設住宅や石巻駅前コンサートで一般の方々に音楽や朗読を届けている。東儀秀樹氏、ヴァイオリンの古澤巖氏、アコーディオンのcobab氏、松平定知氏らに協力していただきました。そして池上彰氏には石巻専修大での講演で大きな励みになりました。この大津波の被災を「忘れない」為に平成28年3月6日東京文京シビックホールで講演を予定しています。東京鰐陵会の方々には改めてご連絡したいと思っております。

「富久の会」参加でパワーを

29回生だより

今野勝幸

東京鰐陵29回生同期会はここ数年、毎年9月の第一土曜日に開催して来ましたが、この日「東京鰐陵富久の会」と名づけてから8日になりに、浅草界隈の会場で開催。参加者全員「浅草雷門」前に集合し互いの健在ぶりを確かめあつてから宴会場まで赴くのが恒例となりました。

また、酔い覚まし恒例二次会は石巻からの来客を交えての自由参加カラオケ大会、衰えることのない美声のもち主の面々が時の過ぎるのを忘れて盛り上がり、次会の再会を期し散会、それぞれの帰路につきましました。

幹事になり皆で協力し団結しようと思いましたが、東京鰐陵総会には冒頭に思っていたのと、まるつきり反対でも素晴らしい楽しい総会でした。こんなに楽しい総会・二次会だから後輩諸君!!我々37回生を参考に多くの鰐陵生が総会に出席される事をお勧めします。



「富久の会」(29回生)に集まった面々

「富久の会」と成って貰いたいと考えております。

30回生だより

雄心会ゴルフコンペ

木村長人

2004年(平成16年)9月、年齢65歳所謂高齢者の域に達した同期生のゴルフ好き8名が、栃木県さくら市大日向カントリークラブに集い「雄心会コンペ」と銘打ってスタートした。

それから丁度10年2014年10月のコンペ(写真参照)まで17回続けてきたが、その間体調崩して抜ける者、新しく参加する者あり若干の出入りあるが、世話役を担ってくれている高橋洋さんの手配よろしきを得て常時7名乃至8名の常連メンバーで続けている。

初期の頃は何度か仙台組との合同コンペを開催、その中に2度恩師・湯本先生にも参加頂いて大いに盛り上がったこともあった。また1度関東勢有志が仙台に遠征したこともあり思い出多いコンペを繰り広げてきた。

後期高齢者の域に達した現任も尚意気軒昂な常連メンバーは、ゴルフ場周辺の自然景観を愛でながらラウンド出来る健康を喜びあい旧交を温めるため、茨城、神奈川、千葉そして群馬と四方から大日向CCに集うことを楽しみにしているのである。

今年2015も5月と11月の2度予定されている。

蜂谷国彦

石巻高校30回生有志による「雄心会コンペ」に2005

酒を酌み交わし、石高時代のことや郷里の思い出話に花を咲かせるのも楽しみの一つです。翌朝の早いスタートに備えて早めにお開きになります。早い切り上げに皆物足りなさそうな顔をしています。毎回同じ話の繰り返しなのに話

が尽きないのは、高校時代の甘い「青春」の思い出に彩られているからでしょう。白髪交じりの面々が皆、紅顔の美少年(?)に戻っています。

私の場合、優勝がなく準備勝が最高ですが、優勝を目指したりブリーチメーカーになることを余り意識しないで参加してきました。70有余年の人生の中で高年3年しか時間を共有してないのに、何故か話が弾み、適度に競争意識を持ちながらも、和気あいあいゴルフが楽しめることが不思議でなりません。

「雄心会コンペ」が長く続いていくのは、毎回幹事を務めているのは、毎回幹事を務めてくれる高橋洋さんのお骨折りによるところが大変大きいのですが、やむを得ない事情がある時を除いて、極力コンペの日に予定を合わせて参加しているメンバーの熱意のおかげでもあります。

毎回別れ際に、「では次回も元気に会おう」と声を掛けあつて帰途につきますが、全員が後期高齢者になつていくので、内心では先の健康のことは分らないなと思つています。

何事にも限りはあります。若いコンペが再開されて、再び皆が元気に集まるとは、本当にうれしく、元気で居ることの有難さをつくづく感じました。

このコンペは前泊して夜は

33回生だより

鰐陵33会総会の報告

木村貴則

33回生の同期会は、「鰐陵33会」と称して3年毎に総会を開催して参りました。今回の総会は、昨年10月に鳴子温泉のホテル「ますや」で計画した開催が、大型台風の影響で急遽取りやめとなりまして、そのリターンマッチとして4月12日から13日に掛けて同じ場所で開催しました。添付の集合写真を参照ください。前回の集まりは、丁度古希の年齢の年に当たり、平成24年6月に松島「の坊」で開催したのですが、この時は東日本大震災の翌年で大変な時期に当たり開催を躊躇しましたが、こんな時こそ結束

を固めようと開催を決定し、46名の参加者を得ました。今回は残念ながら22名の参加者となりました。総会の議事では、役員改選と会則の一部改訂を行いました。会長は久保田齊氏が再任され、副会長には白出征三氏の再任と、体調不良で入院中の伊藤正彦氏に代わり関口俊介氏が就任しました。又、監事は平成25年に亡くなった眞壁道夫氏に代わって齋藤卓次氏が就任し、石島正敏氏と務めることになりました。

会則の一部改訂では、通常総会の開催を3年毎から2年毎にするが、今年73歳になる年齢を考慮して、2年毎と言わ

ずには頻りに臨時総会を開こうと言ふ会長の挨拶に皆が賛同しました。懇親会が始まって、会長の挨拶の中で3月14日から15日の天皇皇后両陛下の石巻市と東松山市の訪問に際しては、33会のメンバーが活躍した事が紹介されました。まず、東松山市では、議会議長の滝健一氏が被災復興状況の説明に当たり、石巻市長の亀山敏氏明では、石巻市長の亀山敏氏が当たったこと、最後の極め付きは、両陛下が白謙さまほこの店の門脇工場を訪問された後に、両陛下と会長の白出征三氏と息子の哲弥氏の4名だけ社長室に入り、事前のご下問内容の開示無し

のぶつづけ本番で20分間、陛下の質問に答えられた話を聞いて大いに盛り上がりました。陛下が津波での被災の状況や従業員の安否を気遣い、風評被害に対するご心配に対しては全く問題ないことをデータに基づいた会長の説明を熱心にお聞きになり、納得されて安心された様子に接して胸が熱くなったと語りました。タイトな日程の中でも、この20分間の白謙での面談の時間は確保することを陛下が厳命されていたそう、真摯なお姿に接して感動したと白出征氏は熱く話してくれました。

懇親会の後は、幹事の部屋に集まって持ち寄った銘酒と珍品を肴に二次会が夜更けまで続きました。小生は翌日の有志参加のゴルフコンペに備えて適宜に切り上げて部屋に戻ったのですが、それでも翌朝まで頭が重くまともにゴルフが出来ないか心配で便乗してゴルフ場に向かいました。



「鰐陵33会」総会に集まった面々

親善ゴルフコンペ参加者は10名で3回目が回りました。会場は黒川郡大衡村の「花の会GC」で、近年は女子プロのミヤギTV杯の大会が行われるゴルフ場です。心配された雨の天気予報も最後まで持つてくれ、3組が上がった後に雨が降るといいう行いの良さに救われました。新ペリア方式の成績では、優勝が小野健司氏、準優勝が木村貴則(本人)で3位が西村三三氏でした。東京地区から参加した1名が入賞し面目を飾りました。今年の33会ゴルフコンペは、6月と10月に開催することが幹事から案内されまして、白謙会長提議の「世かまぼこ」セットを手にして散会となりました。同期会は楽しいものです。英気を貰って帰って来ました。



「雄心会ゴルフコンペ」に集まった面々





短信

総会出席者からの近況報告

■14回生・26回生 佐藤孝己(14回生)

おかげで91歳になりました。何かおぼろげにありますが、足腰が不自由で遠出はひかえております。皆さんどうぞお元気で。役員は皆さん御苦労さんです。

鈴木善治(22回生)

御盛会を祈ります。木村隆吉(22回生) 遠出は困難な状況です。石巻震災のニュースを聞くたび身体が凍むだけ、何も出来ず無念、彼地を思うだけです。皆様宜しく。

野中浩(23回生)

異境の地に終の栖を定めました。齢、八十路に入り、狭庭を眺めて気息奄奄、余命の残り数を数えつつ。田代善郎(23回生) ご盛会と皆様のご健康を祈念致しております。

亀山兵吉(23回生)

23回生の同期は次々に病に倒れて、世話役を担当する者が居らず、多分東京の鰐陵会への参加を取り止めたことと承知しております。復帰の可否は判りませんが、23回生のグループは出立することがあります。

荒川竹雄(23回生)

船相応の老いを痛感しておりますが、特記する程の症状もなく、それなりに元気で過しております。守谷栄一(23回生) 65歳で神奈川県立看護学校を卒業。現在、妻と2人暮らし、車椅子生活です。

加藤直人(24回生)

10月中旬より疾病にかかり入院。治療につき、今回は残念ながら不参加となります。よろしくお祈り致します。

石川正雄(24回生)

(略)昨秋、同期の手塚康二君より、会の話をいただきました。兄弟、秀才は冷たいものと先人観を持っていました。彼は想像を絶する

温かきで私に接してくれ、元氣を与えてくれた事を忘れません。(略)会の盛会を祈念致します。乱筆乱文を許す。

芦原 潤(24回生)

永く勤務して居た鹿児島県奄美群島を75才で引退しました。早速本年2月に腹部大動脈瘤が発見されたので手術を行いました。体力は衰え歩行も遅くなりまして、辛うじて最後の力を振り絞って居ります。

手塚康二(24回生)

会当日は先約があり、欠礼致します。会のご盛会を祈念しております。小生、頭、身体共、年令(81才)相応に弱って来ておりますが、何とか普通の生活は出来ております。

玉河信也(24回生)

昨年10月31日鰐陵24回生関東地区同期会を14名(石巻支部より3名参加)の出席で開催しました。会場は新宿野村ビル(石巻)でした。小生にとっては、石巻卒業以来初めての顔ぶれも多く、本当に懐かしい限りでした。末筆ながら、総会の盛会をお祈りいたします。

柴田晴夫(24回生)

80才となり白内障の手術をしたこと、運動神経も鈍くなったこと、とあり運転免許証を返納し、孫の成長を楽しみにしている毎日です。

坂本武久(25回生)

(略)現在は多少減りましたが、相変わらず通院が仕事です。完全に回復する事は無いので、少しずつどこかに向っているのです。諸兄のご多幸、健康を祈ります。

鈴木哲郎(25回生)

ご連絡ありがとうございます。あの3・11の東日本大震災の惨事には石巻高校出身の主人は懐かしに所ばかりで、どんなにか心痛めたことかと察していました。丁度前年11月難病による大手術を受けたことと察してました。

阿部孝男(27回生)

今回は欠席とさせていただきます。ハイアライサーチと言う所でアルバイト的に働いています。

石田三成(27回生) 数年前、家内が病に倒れ、半身不随の後遺症が残りました。その介護のため、主夫となり家事一式を行っております。小生自身は身心共に元気で。

奥田真吾(27回生)

趣味のゴルフやテニスも最近、ほとんどやっています。少しばかりアルバイト的に移動体通信の基地局設置関連の仕事をしていまして、震災以降、田舎への足は遠くならぬ。

北村忠二(27回生)

ウオーキング、筋力運動を欠かさず実行しています。佐々木博(27回生) 元気でボンヤリ生きています。庄司貞義(27回生) 元気に暮しております。役員の皆様にはいつも御世話になり感謝致しております。

佐々木博(27回生)

役所退職後、特別養護老人ホームの施設長と準備を含め、15年勤め、本年3月で退任しました。体調を少しずつよくなりましたので、欠席とさせていただきます。会の発展を祈っております。

徳江 明(27回生)

行政書士の業務をこなす他、見守り(独居高齢者)などのボランティア活動を通して、地域とのつながりを深めています。

新田敏一(27回生)

所用が忙しく失礼します。一応元氣です。木村会長へ、大役ご苦労さまです。ご盛会を祈ります。千葉副会長にもよろしくお伝え下さい。

八木 茂(27回生)

本年5月で「さいたま市遡跡調査会」の手伝いを引退いたしました。

小野寺康充(28回生)

元氣に生きています。当日は予定が重なり出席できません。次回また連絡をお願いします。

櫻井忠義(28回生)

ラブを作ったり撮影会・展覧会などを開いています。伏見 良(28回生) 小生、年令相応にいくつかの健康トラブルを抱えておりますが、日常生活は悪くなく過ごしております。今回の鰐陵会は都合により欠席です。皆様のご多幸をお祈りしております。

三浦寛和(28回生) 喜寿をむかえました。足腰が弱って参りましたので欠席させていただきます。

安倍正剛(29回生)

9月6日東京同期会に参加しております。熊谷市の明るい社会づくりに会に所属し、南三陸町復興支援を行っております。石巻市には11月に行く予定です。

佐々木健(29回生)

東京鰐陵の会報、懐かしく拝見しました。小生、呼吸器系の持病の為、毎回出席出来ず、残念に思っております。新会長の下、東京鰐陵会の益々のご発展と、皆様のご健康を心からお祈り申し上げます。

高橋恒四郎(29回生)

趣味が多忙。日々は好日に過して居ます。今回も都合悪く欠席します。ご盛会を!!

守屋昇治(29回生)

鰐陵会の案内、なつかしく拝見。被災地支援を行っている団体で、南三陸、石巻、福島を中心に活動しています。

桑島 馨(31回生)

未だ現役活動中(仕事中心)他アグビー・登山・スキューバダイビング・パルクライダー等

赤間 敏一(31回生)

役員・幹生の皆様には、大変お世話になっております。案内を頂き、いつも都合悪く欠席で申訳ありません。H. 22年会社生活卒業後も、中小企業の常勤監査役に頑張っております。

遠藤隆治(31回生)

皆様のご健康を祈念します。次回出席致します。

佐藤清勝(30回生) 小生、退職した大学では毎年11月第2週目の日曜日、ホームカミングデイが開催されることになっております。先輩・後輩名譽教授たち卒業生たちと再会して団欒するのが近年の常となっております。それ故、今後も同日開催される鰐陵会総会には参加不能なため、小生に案内状の発送を差し止めて下さい。鰐陵会の益々の発展を祈念いたします。今総会の盛会を祈ります。

佐々木努(30回生)

旅行中につき欠席させていただきます。

窪田敏郎(30回生)

毎日、零細企業で、省エネ事業に取組んでいます。企業は、辛うじて生きています。明日に向かつて行きます。

亀井勝雄(30回生)

早いもので小生も75才を過ぎ後期高齢者の仲間入りとなりました。お陰様で日々、元気に過しております。先回の総会が欠席とさせていただきます。盛会を祈念致しております。

安倍平和(30回生)

大病してリハビリ中です。30回生の同期会の企画はないですか?ご盛況をお祈りします。

半澤哲志(30回生)

被災地支援を行っている団体で、南三陸、石巻、福島を中心に活動しています。

桑島 馨(31回生)

未だ現役活動中(仕事中心)他アグビー・登山・スキューバダイビング・パルクライダー等

赤間 敏一(31回生)

役員・幹生の皆様には、大変お世話になっております。案内を頂き、いつも都合悪く欠席で申訳ありません。H. 22年会社生活卒業後も、中小企業の常勤監査役に頑張っております。

木村照夫(31回生) 同期新聞部だった小杉充(住中)熊谷良(登米中)柴木英一(門中)君らと共に4〜5回食事・カラオケ、時に小旅行など交際が続いています。東京三一会(女川一中昭和31年卒等の東京近郊在住者の集いの「ちっちゃな支援ふるさとの子供たち」も4年目を迎え準備中です。

阿部隆雄(32回生)

先日、石巻に行って来ました。まだだだの感がありました。会った人たちは、みんな元気で笑顔だったのが、なによりでした。

館 克憲(32回生)

高校時代は石中裏の鰐山に住んでいましたので、学校の火事は忘れません。クラブは新聞部に所属。思い出すのは、音楽会の取材や他校との交流です。同期の出席者が居ないのが残念です。

櫻井庸正(32回生)

体力低下著しく防止にとめるも効果がありません。東松島の弟の長男の結婚に出席、大震災を乗り越え今後の希望になったことを祝福します。

加藤憲一(32回生)

残念ながら11/4〜11/11フランズ旅行中です。昨年も整合できませんでしたが、日程が決まっていれば予定できます。東京鰐陵No.12あがらうございます。今年の3月末をもって、大学での任務も一切終了しました。

小野寺善明(32回生)

全身、年令相応に経年劣化が進んでおり、目、ひざ等、加齢中。こちら直れば、あちらがこわれる。といった日々です。まずは健康第一で。当日は趣味の写真展が鎌倉で開催。小生も3点ほど作品を発表します。

武山洋治(33回生)

毎回欠席で申し訳ありません。オーケストラ、混声合唱、ダンスと趣味三昧の毎日楽しくやって

木村日出夫 (33 回生)
先日、「女川に一緒に帰ろう」慰霊の旅... 一泊二日バスツアーに同行し、震災後の女川の全地域の現状等視察しました。東京鰐陵総会、うまい鮎鮎の同期会、又鴨子温泉三三三会も町会役員行事で参加できず残念、無念、皆様のご健勝を！

金子 賢 (33 回生)
当日、行政区内行事の引率者として出かけることになりました。日時が許せば「うまい鮎鮎」へ出て出かけたはず！残念です。向いて33会の皆さんとの会話に加わったかったですね！

山田 健 (33 回生)
8月7日、北海道天塩川にテント泊でカヌーツーリングに行ってきました。
山田 勝 (33 回生)
私は現在、街道歩きグループをつくり、主に東京を起点とする街道を歩いており、それなりに健康に過ごしております。今度の総会には所用があり出席できませんが、盛大な会合になるよう祈念しております。

熊谷正茂 (33 回生)
当日、網膜剥離手術入院中の予定のため大変不本意で残念です。申し訳ない、皆様によろしく。
橋浦武夫 (33 回生)
体調が優れないのでウォーキング筋力トレーニングで少しずつ回復をしている状況です。故郷を懐かしく思い出しながら吹き始めた民謡尺八も25年になりました。体調が良いと良い音が出るようです。

伊勢道 (35 回生)
地域活動を楽しんでいます。皆様のご健勝をお祈り申し上げます。
尾形武善 (35 回生)
未だに、日本財団で勤務を致しております。当日は残念ながら出張が予定されており、欠席させていただきます。
佐藤敏一 (35 回生)
今年、古稀を迎えられるまで還暦直後に脳出血で片マヒながらも生かされています。デイケア、ショートステイにてリハビリに、休日もゆつたりと秋の日々を過ごしております。

高橋浩夫 (35 回生)
私は、まだ現役で働いています。現在、小山市にある白鷲大学経営学部教授、宇都宮大学大学院客員教授です。11月6日は台湾での講義で出張中です。皆々様の盛大な会であること祈っております。
谷 光彦 (35 回生)
11/8・9両日、市原市三和地区「三和コミュニティセンター」の会長職にあり、「三和コミュニティまつり」を開催することから席をはずしません。9日はイベントもあり「女川のサンマ」1000匹を焼いて提供します。
山田俊昭 (35 回生)
50数年ぶり皆さんと再会を楽しみましたが、生憎当日行事重なり残念ですが出席できません。70歳を超えても、東京オリピックも見たい、ひ孫の顔も見たい。皆さんによろしくきげんよう。

本木 信 (35 回生)
古稀を迎え、元気な過ごししております。東京鰐陵会員皆様の御健勝を祈念致します。
佐藤三寿夫 (36 回生)
年に4・5回石巻に帰ります。
相良秀夫 (36 回生)
地域行事も重なり残念ながら欠席いたします。アフター同期会も開催すること。ご盛會を祈念します。小生は相変わらずの毎日、何となく地域の活動に追われています。
伊藤孝道 (37 回生)
皆様お元気でお過ごしですか。小生は元氣な釣を楽しんでいます。今は近くの海岸でサヨリと遊んでいます。ご盛會をお祈り致します。
岡部博行 (37 回生)
完全主夫で頑張っています。近くに住む孫の世話もしています。4、5年前、完全リタイアしてから年4・5回の海外旅行を楽しんでいます。今年3回目の旅行はカナダの紅葉を見てきました。(9月下旬)主夫業のあい間にゴルフ、会社や大学時代の仲間とカラオケ、麻雀、のみ会などを楽しんでいました。次回皆様に会える事を楽しみにしています。

阿部 賢 (37 回生)
皆さんお元気ですか。私は今回都合がつかず欠席します。私は仕事はしてませんが、毎日散歩で週一回のグラウンドゴルフを楽しんでいます。
西條紀郎 (37 回生)
現在は会社へ行っています。
木田 洋 (37 回生)
当日は都合がつかず出席できません。当り事務理事の手伝も出来る、誠に申し訳ありません。
白鳥隆幸 (37 回生)
悠々自適、毎日孫(男の子7才)の面倒をみています。盛會を祈念いたします。
安住豊 (38 回生)
退職して2年、毎日のんびりと暮らしておりますが、石巻・女川地区の復興がいつも気がかりです。
小山慶孝 (38 回生)
職を辞し、悠々自適の生活。地元で溶け込むための努力中です。
波部正昭 (38 回生)
小生、大学の部創立50周年総会が先に決まっております。欠席させていただきます。悪しからず御了承下さい。
荒川憲一 (38 回生)
当方、週一回ペースで東京国際大学の非常勤講師つづけています。



イラスト=三宅哲

から11月始めにかけて石巻へ行く予定です。
熊谷道夫 (39 回生)
何とか元気に過ごしております。先般、高校のクラスの集まりがあり、色川健一君(元鰐陵同窓会本部事務局長)の紹介により本部同窓会に加入いたしました。
今野雅隆 (39 回生)
東京部庁を定年退職後、都の外郭団体(東京熱供給(株))にて第二の人生を送っております。
橋澤修三 (40 回生)
9/9大腸・S状結腸腸切除手術、肝臓・肺への転移のため手術予定「早期発見・早期治療!!」
森 一俊 (40 回生)
帝京大学で若い学生と学ぶこと5年！65歳の来年度で終わり？と思っていたが来年度からも要望があり、継続!!楽しく頑張ります。御健勝で御活躍を！ 御盛會をお祈り致します。
高橋國一 (40 回生)
長野県軽井沢町にて企業の別荘の管理をしています。なかなか休日を取ることがむずかしいので皆さんにお会いする機会がないのが非常に残念です。宜しくお伝えください。
佐藤俊夫 (40 回生)
この3月に(40年間勤務)無事退職しました。4月からは、NAM(證券業界)で働きはじまりました。
萬代 玄 (40 回生)
体力、気力の衰えと戦いながら仕事を続けています。
遠藤栄松 (41 回生)
来年8月でリタイアとなる予定です。来月8・9日は東松島に出向いたします。震災後、母の生活圏が津波の被害にあった後、春夏は石巻の東家で秋冬の寒い時期は当地で、行ったあたりから3年でした。今年が母が5月にケガをした後、9月末まで家と病院の往復でした。家が心配とのこと、今月末